

未来を拓く柔軟な科学的思考力を育む「協同的探究学習」
ー各教科の授業で非定型な課題の本質に迫るー

「協同的探究学習」は、児童・生徒が自分なりの方法で教科の内容を深く理解することと、思考のプロセスを表現することを促す、小・中・高各教科や課題研究で実践できる学習法です。また、仲間と話し合うことで、児童・生徒が主体的に授業に関わろうとし、お互いの考えを聞くことで仲間を認め合うことのできる授業です。

第1回の研究会では、「社会生活に生きる柔軟な思考力を高める「協同的探究学習」」をテーマとして「数学科」、「家庭科」、「データサイエンス」の実践紹介・検討を行います。協同的探究学習の趣旨や理念を理解した上で実践している学校の実践紹介も行います。社会生活に生きる「生徒の新しい気づき」を引き出し、生徒間で共有して深める授業についてともに考えます。また、ワークシートを用いた思考力・判断力・表現力の評価（A基準、B基準）について評価例をもとに検討します。

期日： 2024年7月13日（土）13：00～17：00

テーマ：社会生活に生きる柔軟な思考力を高める「協同的探究学習」

第1部	本日の研究会の趣旨説明	13：00～13：10
	藤村宣之先生（東京大学）の講演（50分）	13：10～14：00
第2部	数学科（中学校）の実践紹介・検討	14：10～15：30
第3部	家庭科（中学校）の実践紹介・検討	15：40～16：20
第4部	データサイエンス（高等学校）の実践紹介・検討	16：20～17：00

他教科の先生方も是非ご参加ください

対象者：小学校・中学校・高等学校・大学の教員（非常勤講師を含む）、教育委員会関係者、
教員志望・研究者志望の大学生および大学院生

形態： オンライン（Zoom）